

# 風況調査の観測タワー

## 何も無いところに立てる

車両や重機がないことを前提にしています。

風力発電を検討する場所に道路があるとは限りません。クレーンや重機が持ち込めるとは限りません。風況調査専用の支線式タワーは、すべて人力で運搬できるサイズと重量の単位に分けてあります。60mまでの高さの観測タワーを設置するために重機は使いません。資材輸送を含めた工期と作業量の短縮は、1年あまりの風況調査には大きな味方です。

- ◎ 地上で組み立てて引き起こし
  - ・ 高所作業の必要なし
  - ・ 職人作業の必要なし
- ◎ 簡単な部材の組み立てと分解
- ◎ パレット上1パッケージで運搬が楽で簡単



	XHD タワー
形式	支線式鋼管柱
高さ	58 m と 60 m
設置半径	33.5 m
タワー主材	上半分φ 203 mm (8 インチ) 下半分φ 254 mm (10 インチ)
主部材長	2.21 m
支線段数	6 段
支線方向	直交 4 方向
支線材	φ 6.35 mm (1/4 インチ) 7x19 鋼線
仕上げ	亜鉛メッキ (タワー・支線・その他)
総重量	1.5 トン
製造	NRG (米)



インター・ドメイン株式会社

〒 240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町 134 横浜ビジネスパーク ウエストタワー 7F

Tel 045-459-9501

info@enecafe.com

www.enecafe.com

# 観測機器の配置

